

※特別報告(9)を再読して下さい。た方は、筆執者兼編集長(9)ハステックの内容をごに照して、ご名文入り差し上げます。

メキシコゆき 中止のこと

「こりやすごい。ただやて。ほな行ってこーと喜こびいさんであつたのに……」

「ふうござん宛に、こんなもんきてるで：・なんやインビテーシヨンらしいで」と、向井さんがドサリと英文のパンフを渡してくれ

たときは、まさか旅費までたどは知らぬし、別に気にもとめぬいで、そのうち誰かに読んでもらおうと机の上においといた。それから5日ほどして私をスイセンし

てくれた今アメリカに行つてるアさんから手紙がとどいて、「ええっしとはじめてわかつたというしだい。ところが申込み切日がら月末。すぐ申し込み書類を出して

も郵便だと向に合わない位。Aさんにとり合えず電話でOKの返事をして、申し込みの書類はちよつと遅れるということ伝えておい

たのです。なにしろ、そんな時は、特別報告を作るので、寝る間もないくらいの大騒動の真最中。メキシコどころやあらへん。

特別報告だし終つて、やつと申し込み書を作つてへこれたつて英語で書かなあかんの、私には無理な話で、Rにためんで書いてもらつた。レポート約10枚は日本丈のまま出したのだが、すでに遅しーというわけだつたのです。

しびれをきらした国際非暴力レーニンゲセミナーの事務局は、次の候補者に旅費をまわしてしまつたのです。それでも半額負担(600ドル)すれば受け入れるか！といつてきてるけど、それはちよつと無理ヨ。

とにかくこの招待状は忙がしすぎたわ。でも、この私のメキシコ行きということ、Hさんが、私

が持つていくようにWR(日本宣言)や、向井孝の「暴力論ノート」(要約)を英訳してくれる話がまとまつて、(もうろろは出来た)これは、私の

最大の拾いものでした。そして坂井さんはすぐに、アジア資料センターまで行って、ホスターやら英文パンフやらを買つて送つてくれるし：・ほんとにありがと。

このせうかくの、英訳したもの、ホスター、パンフ等は、日本から参加の石谷さん、現地の阿木さんに託します。

メキシコでのN・Vトレーニンゲセミナーの報告は、この石谷さんと阿木さんから聞けるでしょう。たのしみになっています。 風

台湾の政治犯の
即時釈放を訴ふる

7月5日 6:00~

於 中の島公会堂

講演 その他

宮崎 しげき 夫

川久保 久夫

リン・マイルス

ニースレーター送付用、宛名記入切手貼付の封筒を一通お送り下さい。既に送付のものは別よりしく。